市民1000人に聞きました①

広場や公園など憩いの場を
市政世論調査結果まとまる

市民の皆さんがどのような意識を持ち、何を望んでいるかを調べて、今後の市政に反映させていこうと行われた第十五回市政世論調査の結果がこのほどまとまりました。この結果は、住民基本台帳から無作為に抽出した市内在住の満二十歳以上の男女千人（回収数…男三百九十三人、女四百十八人、計八百十一人）を対象として、昨年十月、調査員が面接によって調査したもの。今回の調査テーマは「公園緑地について」、「広報紙について」、「都市景観について」の三テーマでした。本号では「公園緑地について」を紹介し、次号で「広報紙について」、「都市景観について」を紹介します。

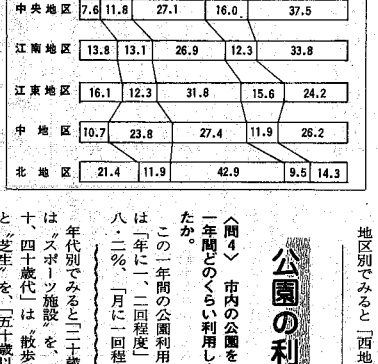
緑豊かなじゅんさい池公園

憩いの場や緑が少ない

〈問1〉 住まいの周辺で不満と感じるものをあげてください。（三つ選択）

①広場や公園などの憩いの場（三二・八％）②緑の豊かさ（二〇・五％）③のびのびと歩ける空間的なゆとり（一八・五％）④静けさ（一六・〇％）⑤まち並みの美しさ（一四・五％）⑥神社、お寺、史跡や文化財など歴史的雰囲気（一三・六％）⑦川や海辺など水辺の親しみ（一一・一％）⑧空気のさわやかさ（七・四％）⑨特にない（三五・一％）⑩その他、わからない（三・九％）

〈問2〉 住まいの周辺は、緑が多いと思いますか。



〈問3〉 住まいの周辺で緑として感じられるのはどれですか。（三つ選択）

住まい周辺で緑と感じるところは「庭やベランダなどの木や花」が四〇・九％、続いて「公園や広場などの樹木」が三〇・九％、「田畑の農作物」が三〇・二％の順となっています。

地区別でみると「西地区」、「坂井輪地区」、「江南地区」、「江東地区」は〝庭とベランダ〟と〝農作物〟を、「中央地区」は〝公園や広場〟と〝街路樹〟、〝水辺の緑〟を選ぶ人が多くいました。また「中地区」では〝公園や広場〟と〝庭やベランダ〟を、「北地区」は〝神社やお寺〟と〝水辺の緑〟を選ぶ人が多くいました。

公園の利用回数は？

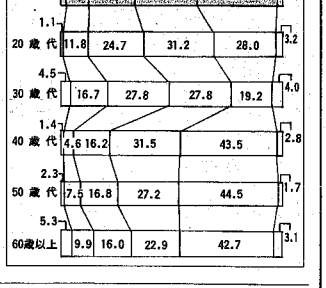
〈問4〉 市内の公園をこの一年間どのくらい利用しましたか。

この一年間の公園利用回数は「年に一、二回程度」が二〇・一％、「週一回程度」が九・九％の順となっています。また、全く利用しなかった人は三五・九％となっています。年代別でみると四十歳以上の人の利用が比較的若い年代よりも少ない結果となっています。

●利用したことがあると答えた人は、次のどの公園を利用しましたか。

①白山公園（六四・一％）②尾中央公園（一三・五％）③西海岸公園（三七・三％）④阿賀野川河川公園（三三・〇％）⑤鳥屋野交通公園（二六・八％）⑥青山水道遊園（二五・三％）⑦じゅんさい池公園（一七・六％）⑧寺尾中央公園（一三・五％）⑨その他（一六・六％）⑩わからない（〇・六％）

「公園利用回数は？」

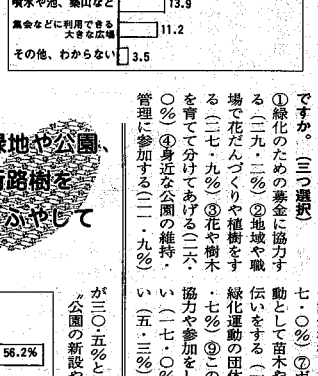


散歩道や芝生がほしい

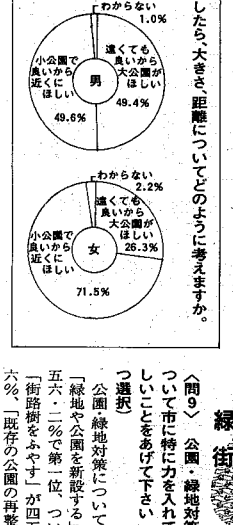
〈問5〉 今後、新しい公園ができる場合、公園の中にどんな施設をつくってほしいと思いますか。（三つ選択）

新しくつくられる公園でほしい施設は、「緑の中の散歩道」が四四・六％ついで「自由にはねまわれる芝生」が三六・四％、「休憩のための施設」が二九・七％と続いています。

「公園の中にどんな施設を？」



〈問6〉 新しい公園ができるとしたら、大きさ、距離についてどのように考えますか。



年代別でみると「二十歳代」は〝スポーツ施設〟を、「三十、四十歳代」は〝散歩道〟と〝芝生〟を、「五十歳以上」は〝散歩道〟と〝休憩施設〟をあげている人が多くいました。

緑化運動などへの参加は？

〈問7〉 緑化運動や緑化活動が行われた場合、どんなことに協力、参加をしてみたいですか。（三つ選択）

①緑化のための募金に協力する（三九・二％）②地域や職場で花だんづくりや植樹をする（二七・九％）③花や樹木を育てて分けてあげる（二六・〇％）④身近な公園の維持・管理に参加する（二一・九％）⑤緑化のための講習会に参加する（二九・一％）⑥緑化祭や記念植樹などに参加する（一七・〇％）⑦ボランティア活動として苗木や花の配布の手伝いをする（一四・七％）⑧緑化運動の団体に参加する（六・七％）⑨このような活動に協力や参加をしたいと思わない（一七・〇％）⑩わからない（五・三％）

〈問8〉 公園の特に重要と思われる機能をあげてください。（三つ選択）

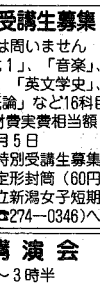
①のんびりと過ごす憩いの場所（五二・五％）②子どもの遊び場所（三六・〇％）③自然とふれあう場所（三三・八％）④災害時の避難場所（二四・七％）⑤運動やレクリエーションの場所（二一・二％）⑥空気の浄化や騒音をやわらげる場所（一〇・三％）⑦集会や催し物の場所（五・四％）⑧その他、わからない（〇・九％）

緑地や公園、街路樹をふやして

〈問9〉 公園・緑地対策について市に特に力を入れてほしいことをあげてください。（二選択）

公園・緑地対策については、「緑地や公園を新設する」が五六・二％で第一位、ついで「街路樹をふやす」が四五・六％、「既存の公園の再整備」が三〇・五％と続いています。路樹」などに対し市民の期待が大きいことがうかがえます。〝公園の新設や再整備〟、〝街

「公園・緑地対策は？」



県立新潟女子短大 特別受講生募集

対象 学歴、年齢、性別は問いません
科目 「人間・自然・文化1」、「音楽」、「心理学」、「食生活論」、「英文学史」、「英語会話」、「国文学概論」など16科目
経費 1科目1,000円、教材費実費相当額
申込期間 2月29日～3月5日
問い合わせ 詳しくは、特別受講生募集要項請求と明記し返信用定形封筒（60円切手をはる）を同封し県立新潟女子短期大学（〒950海老ヶ瀬471、☎274―0346）へ

編み物、手編み講習会

日時 金曜日コース…2月19日～3月18日、日曜日コース…2月21日～3月20日（都合の良いコースを選択）
時間 午後1時半～4時半
会場 市高等職業訓練校（藤見町2―101）
定員 各コース30人（先着順）
受講料 3,000円（毛糸代を除く）
申し込み 2月17日までに電話で会場（☎271―2535）へ ※土曜・日曜日でも午前9時から午後5時まで受け付けます。ただし、月曜日は休館です。

第1回 信濃川駅伝大会

期日 3月20日（雨天、小雪決行）
会場 市陸上競技場～信濃川周回コース
受付時間 午前8時半～9時
参加資格 各種目とも市内在住在勤・在学者
競技種目 駅伝の部…一般・高校の部3人（5・2km、3・5km、8・5km）　中学男子の部4人（5・2km、3・5km、4・85km、3・65km）、女子の部4人（5・2km、3・5km、4・85km、3・65km）、トラックレースの部…3,000m競走
参加費 1人500円
チーム編成 一般・高校の部と女子の部は地域別、職場別、クラブ別、学校別、中学男子の部は学校別とする。※いずれも2チーム以上の参加も可
申し込み 3月4日（必着）までにはがき大の用紙に参加者氏名、住所、年齢、学年、所属、チーム名、走者順、代表者、電話番号を記入し、参加費を添えて市マラソン協会事務局・梶原（川岸町3―18、新潟放送内、☎267―4111）へ

初心者詩吟教室

日時 3月5日から毎週土曜日午後7時～9時
会場 大江山農村環境改善センター
会費 1,000円
問い合わせ 浅見（☎273―5942）へ

せん茶の会

日時 毎週水曜日午前10時～午後零時半
会場 坂井輪コミュニティセンター
定員 10人　**会費** 月2,500円
申し込み 2月29日までに東会・柳沢（☎233―3515）へ

エルク・講演会

日時 2月23日午後2時～3時半
会場 電力ビル2階
演題・講師 「魅力ある自己表現」佐藤綾子・実践女子大助教授
対象 婦人200人

おやこ劇場地域公演

期間 2月27日～3月8日
会場 北部総合コミュニティセンターほか市内17会場
参加費 1人800円（4歳以上）
連絡先 新潟中央おやこ劇場（☎224―8543）へ

山の下閘(こう)門の通航止め

県営山の下閘門排水機場が施設修繕のため、下記の期間通航止めとなります。
通航止め期間 2月22日～3月6日
問い合わせ 県新潟土木事務所機場管理課（☎273―8446）へ